



ジュリアが糸をつむいだ日

パーク作 いちかわなつこ絵 ないとうふみこ訳 とく ましよてん 徳間書店

わたしは、楽農クラブの自由研究で親友のパトリックとカイコを育てることになった。パトリックはやる気だ、わたしは気乗りしない。あまりにも、韓国っぽい自由研究がやりたいのに。それでも、順調に育っていくカイコを見るとかわいく思えてくる。

韓国系アメリカ人のジュリア。カイコの飼育を通じて、さまざまな人と出会う中で、勝手な決めつけや思いこみをしないで、相手のことを知ろうとする努力が大切だと気づく。

